

歴史の中の気候

気候の中の歴史

2018年11月17日（土）

13:00～16:40 受付開始 12:30

東 京 大 学

国際学術総合研究棟 2階 第6教室

- 13:00-13:10 **趣旨説明**
塚原東吾（神戸大学）
- 13:10-14:40 **公開講演 1**
「20世紀初頭からの失われた
気象観測記録の発掘」
エド・ホーキンス
（英国レディング大学）
- 公開講演 2**
「海洋気象記録の調査、スキャンニング、
デジタル化」
フィル・ジョーンズ
クライブ・ウィルキンソン
（英国イーストアングリア大学）
- 14:40-15:10 **休憩**
- 15:10-15:40 **コメント**
ロブ・アラン（英国気象局）
フィオナ・ウィリアムソン
（シンガポール経営大学）
- 15:40-16:40 **歴史の中での気候について考える：
試みと対話**
「気候、データベースそして空間解析：
新たな歴史研究を目指して」
城山智子（東京大学）
- 「気候学と歴史学の対話」
松本淳（首都大学東京）、城山智子
モデレーター：塚原東吾

※英語講演には日本語の逐次通訳がつきます

参加登録：お名前とその読み（アルファベットで）、ご所属、
連絡用メールアドレスを次のアドレスまでご連絡ください。

tsukaken.edit@gmail.com

メディア関係者の方々からの取材の申し込みやお問い合わせなどは参加登録用メールアドレスへ
塚原東吾（神戸大学）宛にご連絡ください。

主 催：科学研究費補助金 基盤研究（S）26220202 「過去120年間におけるアジアモンスーン変動の解明」（代表：松本淳 首都大学東京）
科学研究費補助金 基盤研究（S）17H06116 「近代アジアにおける水圏と社会経済—データベースと空間解析による新しい地域史の探求」（代表：城山智子 東京大学）

首都大学東京 気候学国際研究センター
企画協力：F・ウィリアムソン、塚原東吾

世界各地で毎年開催されてきた世界気象機関（WMO）の国際研究プロジェクトACRE（Atmospheric Circulation Reconstruction over the Earth：地球大気循環復元プロジェクト <http://www.met-acre.org/>）の第11回年次総会が、11月12日～16日に首都大学東京にて開催されます（<https://tmu-rao.jp/event/4307/>）。本シンポジウムは、同会議に参加される海外の著名研究者をお招きした関連イベントです。

（背景は、情報通信研究機構（<http://sc-web.nict.go.jp/himawari/>）のひまわり8号可視画像（2018年8月31日12:51）を加工して作成）

参加費
無料

「歴史の中の気候、気候の中の歴史」

2018年11月17日 13時～17時 (受付開始12:30)

東京大学国際学術総合研究棟 2階 第6教室

気候の歴史的変動については、国際的・学際的にさまざまな研究がされております。なかでも過去の気候の研究については、世界気象機関(WMO)の枠組みのなかの研究プロジェクトであるACRE(Atmospheric Circulation Reconstruction over the Earth:地球全体の大気循環の再現)と呼ばれる研究プロジェクトの第11回年次大会が本年11月12日～16日に、首都大学東京で開かれます。

これにあわせて、世界的な気象学・気候学者と、日本で気候の歴史に取り組む研究者とにより、この公開シンポジウムを行います。気候変動や気候研究の成果はどのように歴史に生かせるのか、歴史は何を教え、歴史のなかの気候は人類をどのように導いてきたのかなどについて、歴史学と気候学の双方向から対話を試みます。このような対話によって相互に視野を広げることで、気候研究の成果を得て新しい歴史像を提示することの可能性を探り、気候研究も歴史学から何らかの示唆を得られたらと考えております。

多くの方々のご参加をお待ちいたします。

(プログラム)

13:00-13:10 趣旨説明：塚原東吾(神戸大)

13:10-14:40 公開講演1

●エド・ホーキンス(英国レディング大学)

「20世紀初頭からの失われた気象観測記録の発掘」

●フィル・ジョーンズ、クライブ・ウィルキンソン(英国イーストアングリア大学)

「海洋気象記録の調査、スキャンニング、デジタル化」

(14:40-15:10 休憩)

15:10-15:40 コメント ロブ・アラン(英国気象局)、

フィオナ・ウィリアムソン博士(シンガポール経営大学)

15:40-16:40 歴史のなかで気候について考える：試みと対話

●城山智子(東京大学)「気候、データベースそして空間的解析：新たな歴史的研究を目指して」

●松本淳(首都大学東京)・城山智子、「気象学と歴史学の対話」モデレーター：塚原東吾

*英語講演には日本語の逐次通訳が付きます

参加は無料。

参加登録は、お名前とその読み(アルファベットで)、ご所属、急な中止などの際の連絡用のメールアドレスを次のアドレスまでご一報ください。

[tsukaken.edit\(at\)gmail.com](mailto:tsukaken.edit(at)gmail.com) (at)は@に替えてください。

メディア関係者からの取材の申し込みや、お問い合わせなどは、上記メールアドレスで塚原東吾(神戸大学)宛にご連絡ください。

主催：

科研費 基盤研究(S) 26220202 「過去120年間におけるアジアモンスーン変動の解明」
(代表：松本淳 首都大学東京)

科研費 基盤研究(S) 17H06116 「近代アジアにおける水圏と社会経済データベースと空間解析による新しい地域史の探究」(代表：城山智子 東京大学)

首都大学東京 気候学国際研究センター

企画協力：F. ウィリアムソン、塚原東吾

なお会場へのアクセスなどは、以下をご参照ください。

東大・本郷キャンパス内の地図。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400020145.pdf>,

この地図で40番の建物です。

(東大・本郷キャンパスへのアクセス)

<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400020133.pdf>